

浄財寄付 クライオンス

ゴルフ大会は10月に開かれ、344人が参加した。



たの ユニ nd 上毛 田会 入っ てほ 者に

が総会

が、高橋会長や堀口芳明幹事長が7月頃より、再開させようと総会の準備を進めていた。

高橋会長は「ずっと若い人に引き継いでいき、会がさらに盛り上げられる」とあいさつし「写真。県組織の学員会群馬支部の森田均支部長

支援センターがセミナー



門用語を使わない相続・遺言講座」と題し、誰が相続人になるのかや争う相続の実態などを紹介した。その上で「証拠力が高く、無効になる恐れがほとんどないのが公正証書遺言。偽造や隠匿の心配がある自筆証書遺言に比べ、残された家族は安心だ」と説明した。

相続の基礎知識学ぶ

相続手続支援センター 群馬(高崎市間屋町) セミナーは「いい遺言の日」は15日、同市労働会館で遺言相続セミナーを開いた。市内の60、70代を中心とした男女が、相続の基礎知識を確認し、トラブルの実例を学んだ。

中沢淳一センター長が「専ら」(11月15日)にちなみ、遺言や相続について考えてもらうと企画。22日午前10時から前橋市のベイスシア文化ホール(県民会館)でも開く。参加無料。定員は先着30人。申し込みは同センター(8027・363・5959)へ。

高崎

高崎市の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」の表彰式が、市役所で開かれた。最高賞の市長賞に選ばれた竹内ゆいさん(浜尻小6年)、松村美胡さん(吉井西

発ポスター

最高賞



竹内さん(右)と

村さんは「受賞は驚いたが、少しでも投票率が上がればいい」と喜びを語った。市長賞以外の上位入賞者は次の通り(敬称略)。▽市議長賞 森本大貴(新高尾小

ネット情報、取捨選択を

上毛新聞社 境ロータリー会員に講座



会員12人が理解を深めた。写真。同社編集局の子安悟記者が「記者の出稿後、デスクなど多くの目で確認を重ねている」と新聞の正確性を強調。インターネットについて「速報性があり、誰もが発信できる利点の半面、フェイクニュースや伝聞に基づく情報もある。取捨選択が大切」と指摘した。

NIIB 新聞を 使おう

伊勢崎市の同社印刷センターで開かれ、群馬境ロータリークラブの

上毛新聞社は、出前講座を希望する企業・団体を受け付けています。問い合わせはNIIB担当(8027・254・9947)へ。

■マイナンバーカードにスマーク伊勢崎(同市西小保方町)の2カ所。対象は伊勢崎市に住民登録している人。顔写真の無

■辻さ 慶祝状(伊崎市今泉さんが、生日を迎える同市磯老人ホ